聖グレゴリオの家チャリティーコンサート

～聖グレゴリオの家活動支援のために～

ニューイヤーコンサート

G.F.Händel　Messiah

マルチェロ　オーボエ協奏曲

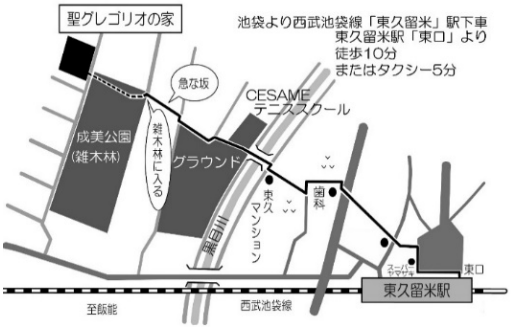
ヘンデル　メサイア（ハイライト）

指揮・テノール　牧野成史
ソプラノ　石原千歳
バリトン　北村哲郎
オーボエ　谷所楠人
合唱　所沢バッハ・アカデミー
管弦楽　シャッツ　カンマーアンサンブル

2023 年 1 月 28 日(土)14 時開演（13:30 開場）

聖グレゴリオの家 聖堂

入場料：3500円（全席自由　限定 90 名）



牧野　成史　指揮 テノール

宗教音楽家・オペラ歌手としてドイツ・オーストリアで２０年近く活躍。武蔵野音楽大学、ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学を経てスイス・バーゼル音楽大学を首席で卒業、声楽および室内楽の国家演奏家資格を習得。声楽をクルト・ヴィドマー、エリザベート・シュヴァルツコップフ、宗教音楽をエルンスト・ヒンライナー、モーツァルト演奏法をアントン・ダヴィードヴィッチ、指揮をヤーノシュ・ツィフラ、各氏に師事。ザルツブルグ大聖堂首席ソリストを長く勤め、ミサ曲・オラトリオに広いレパートリを持つ。またハンブルク国立歌劇場と専属・客演契約するなど数多くのオペラに出演。９４年から指揮者活動を開始、ザルツブルグ大聖堂・同フランチスカーナ教会で多数客演し、帰邦してからは所沢・横浜両アカデミーで多くのオラトリオ・ミサ曲を演奏。日本で知られない楽曲の紹介にも積極的で、ギルマン・オルガン協奏曲、ラインベルガー・オルガン協奏曲第１番、ミヒャエル・ハイドン・ヴァイオリン協奏曲（MH207)、ヨーゼフ・メスナーの作品群を日本初演、活動が評価され、国際ヨーゼフ・メスナー協会（奥）の特別会員に迎えられた。ウィーン古典派は得意分野であり、先日ハイドン　ミサ曲全曲演奏を完了した。
現在ザルツブルク　フランチスカーナ教会客員指揮者,聖グレゴリオの家宗教音楽研究所講師.
ポーランド・オポーレ司教管区教会音楽学校 合唱指揮科客員教授。

石原　千歳　ソプラノ

愛知県岡崎市出身。'97 名古屋音楽大学声楽科首席卒業、同大学院修了。柏木典子、福田富子、伊藤京子、牧野成史の各氏に師事。第 18 回同大学定期演奏会、卒業演奏会出演。第 19 回読売中部新人演奏会出演。'97'98 全日本学生音楽コンクール名古屋大会第 2 位入賞。'00J－VIC 日本声楽器楽コンクール全国大会　特別賞受賞。鎌倉、所沢、横浜、名古屋、岡崎などでモーツァルト「c moll ミサ」「レクイエム」「戴冠ミサ曲」、バッハ「マニフィカート」、シューベルト「ミサ曲第 3 番」、ヘンデル「メサイア」、ベートーヴェン「第九」など、主に宗教曲のソリストとして活躍する。
岡崎市において、'02 柏木典子氏とジョイントリサイタル、'03 第 1 回ソロリサイタル、'07 第 2 回ソロリサイタル、'14 第 3 回ソロリサイタルを開催。海外では、'97 オーストリア　ザルツブルグ・ザンクトギルゲン、'99 バンクーバー、'01 ハワイにてコンサート出演。また、病院や学校などへの出張コンサートも積極的に活動中。'06 には音楽情報誌「プレザンテ」6 月号において注目アーティストとして紹介される。

北村哲郎　バリトン

東京藝術大学声楽科、同大学院独唱科首席卒業。声楽を藤沼昭彦、中山悌一、Ｌ．ベルタニョリオ、Ｋ．ヴィドマー、Ｈ．ホッター、Ｔ．アダム各氏より薫陶を受ける。1989 年、ドレスデン国立音楽大学へ留学。卒業と同時にゲルリッツ歌劇場と専属契約、「カルメン」エスカミーリョ役でデビュー。1993 年ドイツ国家演奏家資格最優秀取得。国立マリボーロ歌劇場において「椿姫」のジェルモン役で出演。現在、国内外で、リサイタル及びオペラ、宗教曲のソロ活動を行っている 。
二期会会員

谷所 楠人 （やどころ　くすと） オーボエ

15 歳より、オーボエを始める。
東海大学第一高校を経て、 東京ミュージック＆メディアアーツ尚美を ディプロマコースまで修了。
在学中よりフリーランス奏者として活動を始め、演奏活動の他、指導者としても活動中。
東京ダブルリードアンサンブル、東京スカイラインオーケストラ、Fontana di Musica 等のオーボエ奏者を務める。
オーボエを七澤英貴・脇岡総一、室内楽を太田茂・中川良平の各氏に師事。

所沢バッハ･アカデミー

帰邦した牧野成史(ザルツブルグ大聖堂専属ソリスト･同客演指揮者)を中心に 1997 年に設立された演奏・研究団体《所沢バッハアカデミー》の合唱団。
約 30 人の混声合唱。音楽監督の牧野成史が自ら常任指揮として指導し高い演奏技術を維持している。
また小川素子(ザルツプルグフランチスカーナ教会専属ソリスト)を発声指導に招き個々のレベルも高い。
バッハだけでなくモーツァルト、ハイドンで定評があり、レパートリーはヘンデル、ベートーヴェン、シューベルト、メンデルスゾーン、ブラームスと幅広い。
2007 年 2 月にペーター･シュライヤー指揮のアンサンブル金沢東京公演(サントリー･ホール)でモーツァルトレクイエムを演奏し脚光を浴びた。
当初同アカデミーは合唱団のみの組織での発足し、現在はほかに管弦楽団、音楽教室(声楽、等)、事務局で構成され幅広く活動している。

聖グレゴリオの家は、1979 年９月に独立宗教法人として故ゲレオン・ゴルドマン神父（フランシスコ会）によって設立され、祈り、研究、教育という３本の柱から成り立っています。その目的は、祈り、典礼を祝いながら、教会音楽の研究、保存と普及、教育を行うことにあります。

【聖グレゴリオの家賛助会】

故ゲレオン・ゴルドマン神父によって創設された当研究所は、神父の母国ドイツや諸外国からの物心両面の支援に頼って参りました。しかしながらゲレオン神父の帰天と援助をして下さった方の高齢化、世代交代に伴い、その支援は必然的に細りつつあります。海外の支援に頼るのではなく日本社会　の中で聖グレゴリオの家の活動を支えていくために賛助会は 2009 年に発足しました。

お問い合わせ・お申込み 聖グレゴリオの家〒203-0004 東久留米市氷川台 2-7-12 TEL:042-474-8915　FAX:042-474-8832
ホームページ　https://st-gregorio.or.jp/
※お電話にて、または「お名前、ご住所、枚数」をご記入の上 FAX でお申し込みください。また、聖グレゴリオの家ホームページの「お問い合わせ」からもお申込みいただけます。